
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第6週
(2月4日～2月10日)

* 2008年2月13日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年2月14日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年6週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週		6週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	71	63	47	45	344	258	2092
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ							1
	細菌性赤痢	3	2	1		9	4	38
	腸管出血性大腸菌感染症		1	1		3	8	75
	腸チフス		1			2	1	4
	パラチフス					1		2
四類	E型肝炎		1			1		4
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1	2		4	1	22
	エキノкокクス症							2
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1			1	4	3	34
	デング熱	1			1	3	1	7
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1	1			3	1	4
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1	6	3	11	12	89	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週	年累計	6週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	8	2	4	20	8	76
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			2		3	2	25
	急性脳炎 **	1	2		1	4		27
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			4	2	12
	後天性免疫不全症候群	6	15	12	13	59	17	115
	ジアルジア症	1		1		2		6
	髄膜炎菌性髄膜炎							1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	5	2		12	9	62
	破傷風	1				2		5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1		6
	風しん		2	2		4	10	50
麻しん	16	32	45	50	153	314	1556	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/2/13集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 45件 肺結核29件、その他16件で、推定感染地は国内44件、フィリピン1件であった。年齢は10歳未満1件、10歳代2件、20歳代2件、30歳代4件、40歳代9件、50歳代6件、60歳代2件、70歳代7件、80歳代10件、90歳代2件であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 推定感染地は都内島しょ地域であった。

デング熱 1件 推定感染地はソロモン諸島であった。

レジオネラ症 3件 すべて肺炎型で、年齢は30歳代2件、70歳代1件。推定感染地はすべて国内であった。1件は温泉との関連が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件 すべて腸管アメーバ症で、推定感染地は国内。推定感染経路は経口感染1件、同性間性的接触1件、不明2件であった。

急性脳炎 1件 患者は60歳代で、病原体は不明であった。

後天性免疫不全症候群 13件 無症候キャリア9件、AIDS 3件、その他1件であった。推定感染地は国内11件、カンボディア1件、不明1件で、推定感染経路は性的接触12件(同性間9件、異性間2件、両性間1件)、輸血又は同性間性的接触1件であった。

麻しん 50件 麻しん(検査診断例)14件、麻しん(臨床診断例)30件、修飾麻しん(検査診断例)6件で、年齢は0歳1件、1～4歳7件、5～9歳6件、10歳代13件、20歳代17件、30歳代2件、40歳代1件、50歳代1件、60歳代1件、80歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は、無し26件、1回接種8件、2回接種1件、不明15件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年6週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		3週	4週	5週	6週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	17	27	16	23	0.15	149	150
	咽頭結膜熱	38	16	25	39	0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	225	285	277	361	2.42		
	感染性胃腸炎	1318	1366	1499	1,589	10.66		
	水痘	152	225	159	176	1.18		
	手足口病	10	12	9	10	0.07		
	伝染性紅斑	31	30	27	22	0.15		
	突発性発しん	77	90	79	105	0.70		
	百日咳	2	3	2	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	2	3	3	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	29	26	32	29	0.19		
	不明発しん症 (注1)	10	10	6	9	0.06		
MCLS (川崎病) (注1)	3	3	6	0	0.00			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	1595	2475	3052	2,370	8.26	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	3	2	0.05	39	39
	流行性角結膜炎	14	8	16	16	0.41		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	6	2	2	6	0.26		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/2/13集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS (川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は引き続き微増傾向にある。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数はさらに増加し、この時期としては1999年以降最も高い値となっている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。ただし、今シーズン(2007-2008年)は例年と異なった推移となっていることから、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

中野区保健所管内定点医療機関

- ・水痘が目立ちます。

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎の4歳男児の検体から病原性大腸菌O6が検出されました。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	10			11	2			4		
～11か月	5	3		65	7		1	44		
1歳	4	8	13	182	23	3	1	46		2
2歳	3	6	14	129	22	2	2	7		
3歳	1	3	33	132	43		2	2		
4歳		4	33	116	26	1	5	1		
5歳		7	56	131	25	1	2	1		1
6歳		2	37	98	11		3			
7歳		1	52	99	9		3			
8歳		1	31	79	1		1		1	
9歳		1	29	74	3					
10～14歳		2	37	181	3	2	2			
15～19歳			8	44						
20～29歳		1	18	248	1	1			1	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	23	39	361	1589	176	10	22	105	2	3
先週比	7	14	84	90	17	1	-5	26		

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				5		
～11か月		2		17		
1歳	1	3		66		
2歳	2	2		93	1	
3歳	4			134		
4歳	9			191		
5歳	5	1		208		
6歳	5			183		
7歳	1	1		197		
8歳				165		
9歳	1			112		
10～14歳	1			309		1
15～19歳				68		
20～29歳				141		2
30～39歳				219	1	4
40～49歳				185		4
50～59歳				51		3
60～69歳				18		2
70～79歳				5		
80歳以上				3		
合計	29	9		2370	2	16
先週比	-3	3	-6	-682	-1	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年6週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		4
2歳		2
3歳		
4歳		1
5歳		1
6歳		2
7歳		1
8歳		
9歳		2
10～14歳		6
15～19歳		7
20～29歳		17
30～39歳		2
40～49歳		1
50～59歳		1
60～69歳		1
70～79歳		
80歳以上		1
合計		50

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				8	1					
中央区			8	12	4			2		
みなと		2	16	82	18			2		
新宿区	6	2	7	50	9			1		
文京			1	27	2			2		
台東	4	2	6	41	2			2		1
墨田区	1		9	26	1			1		
江東区			17	63	3			6		
品川区		2	4	94	6		1	8		
目黒区		2	5	11			1			
大田区	1	8	21	108	15		6	8		
世田谷			5	100	9		1	3		
渋谷区		1	3	42		1		3		
中野区		1	12	66	7	2		3		
杉並		3	6	62	2			3		
池袋			1	24			1	1		
北区				39	5			6		
荒川区		5	13	27	1		1	2		
板橋区			3	48	6		1	1	1	
練馬区			10	40	8			3		
足立			13	46	2		3	4		1
葛飾区			12	36	7			1		
江戸川	2		27	75	9	3	1	5		1
八王子市		3	43	79	13	3	1	3	1	
西多摩	2	1	6	61	9			2		
南多摩	1		7	28	7			7		
町田			65	112	7	1	5	9		
多摩立川			1	28	1			1		
多摩府中		1	9	54	5			10		
多摩小平	4	6	30	100	17			6		
島しょ	2		1							
東京都合計	23	39	361	1,589	176	10	22	105	2	3

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年6週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1			11		
中央区				13		2
みなと				29		
新宿区				54		2
文京	2			21		
台東				12		
墨田区				31		1
江東区	2			49		
品川区		2		44		
目黒区	2			15		
大田区	1			121		
世田谷	5			129		
渋谷区				33		2
中野区	1			103		1
杉並	1			144		1
池袋	1	1		45		
北区				43		
荒川区	2			11		
板橋区	1			47		1
練馬区	2			81		1
足立				80	2	
葛飾区	1			105		
江戸川	4			126		2
八王子市		4		151		2
西多摩				140		1
南多摩				97		
町田	3	2		106		
多摩立川				89		
多摩府中				211		
多摩小平				222		
島しょ				7		

東京都合計	29	9	-	2,370	2	16
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		2
文京		
台東		
墨田区		2
江東区		2
品川区		
目黒区		
大田区		2
世田谷		4
渋谷区		1
中野区		2
杉並		2
池袋		1
北区		1
荒川区		1
板橋区		3
練馬区		3
足立		
葛飾区		2
江戸川		
八王子市		
西多摩		5
南多摩		5
町田		1
多摩立川		3
多摩府中		4
多摩小平		4
島しょ		

東京都合計	-	50
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年6週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				2.00	0.25					
中央区			2.67	4.00	1.33			0.67		
みなと		0.33	2.67	13.67	3.00			0.33		
新宿区	1.00	0.33	1.17	8.33	1.50			0.17		
文京			0.33	9.00	0.67			0.67		
台東	1.33	0.67	2.00	13.67	0.67			0.67		0.33
墨田区	0.33		3.00	8.67	0.33			0.33		
江東区			4.25	15.75	0.75			1.50		
品川区		0.33	0.67	15.67	1.00		0.17	1.33		
目黒区		0.67	1.67	3.67			0.33			
大田区	0.11	0.89	2.33	12.00	1.67		0.67	0.89		
世田谷			0.63	12.50	1.13		0.13	0.38		
渋谷区		0.25	0.75	10.50		0.25		0.75		
中野区		0.17	2.00	11.00	1.17	0.33		0.50		
杉並		0.50	1.00	10.33	0.33			0.50		
池袋			0.25	6.00			0.25	0.25		
北区				9.75	1.25			1.50		
荒川区		2.50	6.50	13.50	0.50		0.50	1.00		
板橋区			0.50	8.00	1.00		0.17	0.17	0.17	
練馬区			2.00	8.00	1.60			0.60		
足立			2.60	9.20	0.40		0.60	0.80		0.20
葛飾区			3.00	9.00	1.75			0.25		
江戸川	0.40		5.40	15.00	1.80	0.60	0.20	1.00		0.20
八王子		0.75	10.75	19.75	3.25	0.75	0.25	0.75	0.25	
西多摩	0.40	0.20	1.20	12.20	1.80			0.40		
南多摩	0.25		1.75	7.00	1.75			1.75		
町田			16.25	28.00	1.75	0.25	1.25	2.25		
多摩立川			0.17	4.67	0.17			0.17		
多摩府中		0.10	0.90	5.40	0.50			1.00		
多摩小平	0.67	1.00	5.00	16.67	2.83			1.00		
島しょ	2.00		1.00							

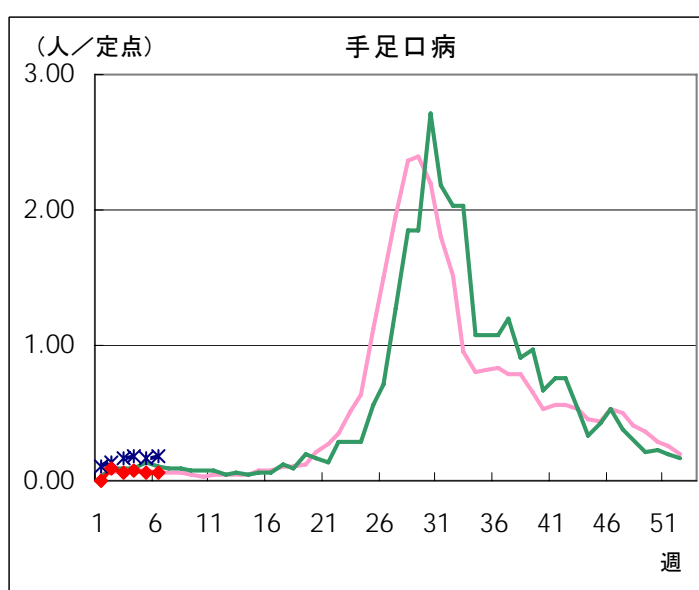
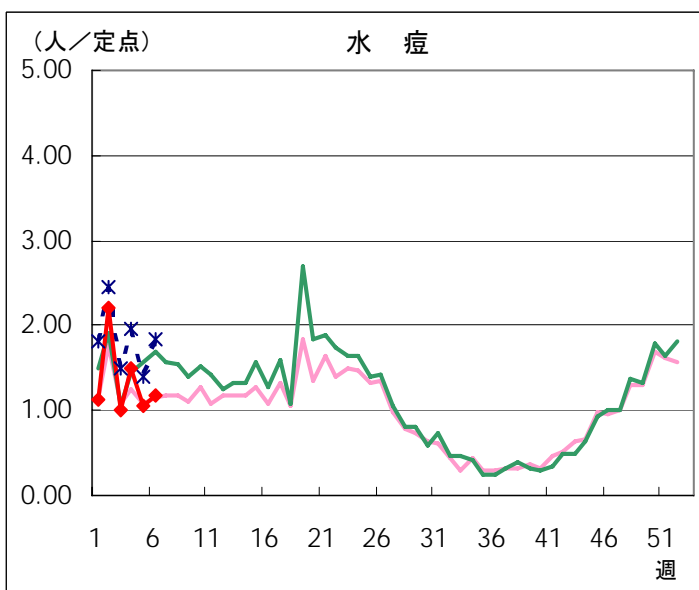
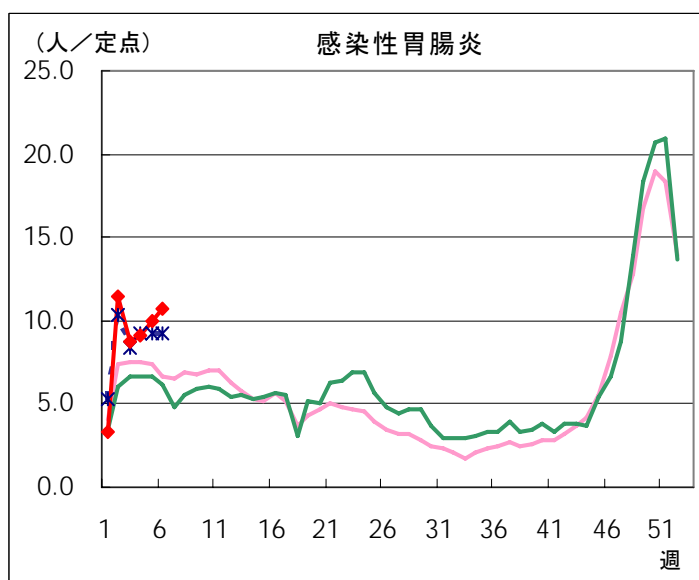
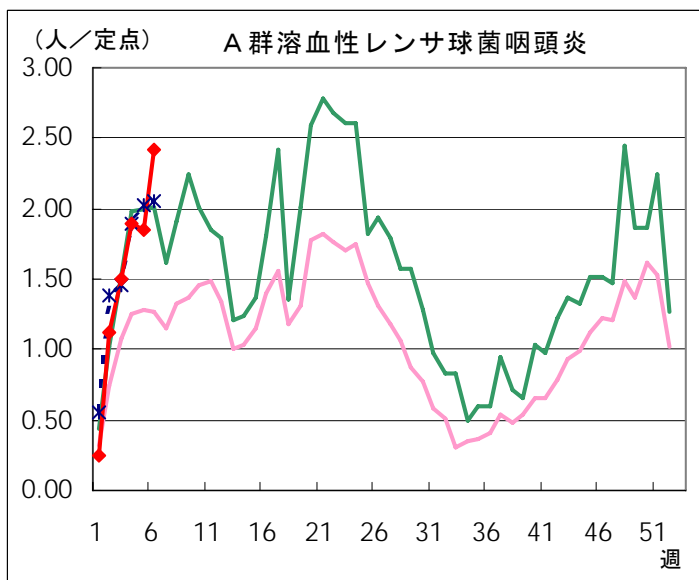
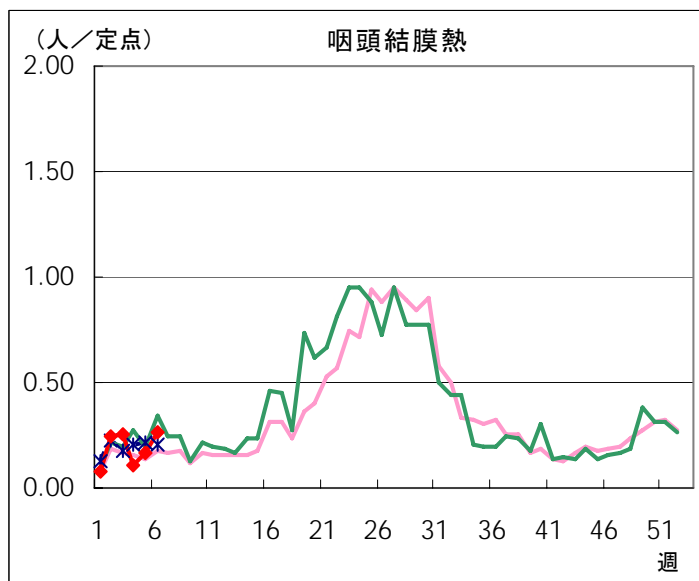
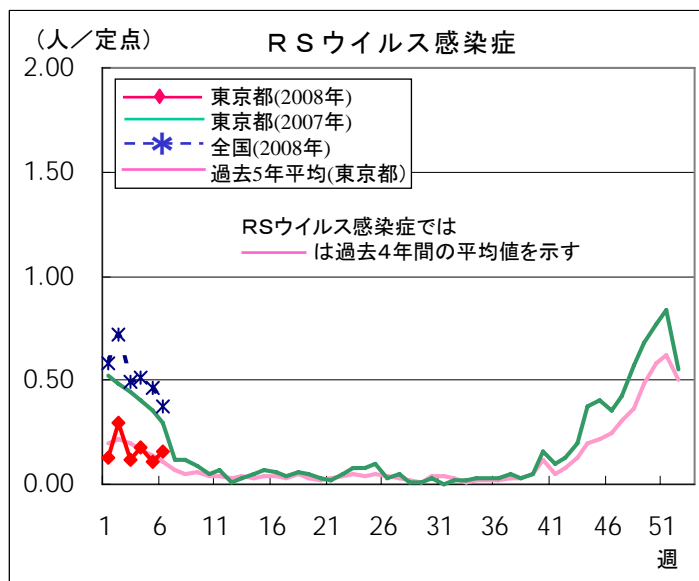
定点当り報告数	0.15	0.26	2.42	10.66	1.18	0.07	0.15	0.70	0.01	0.02
---------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

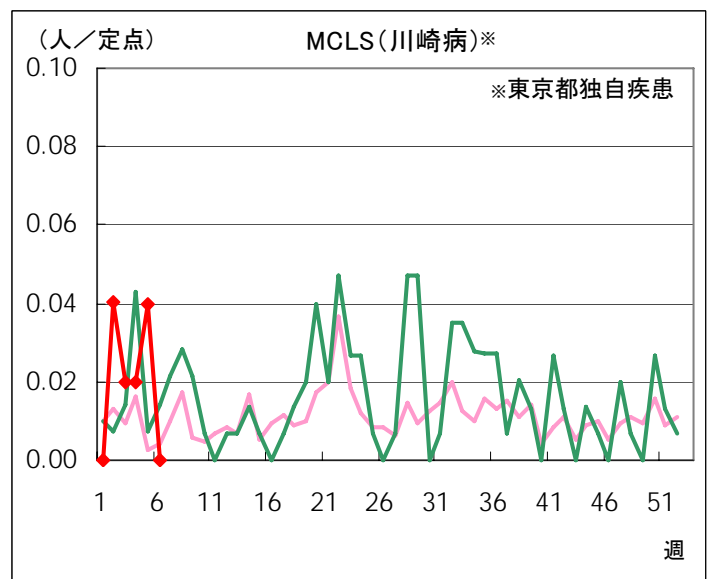
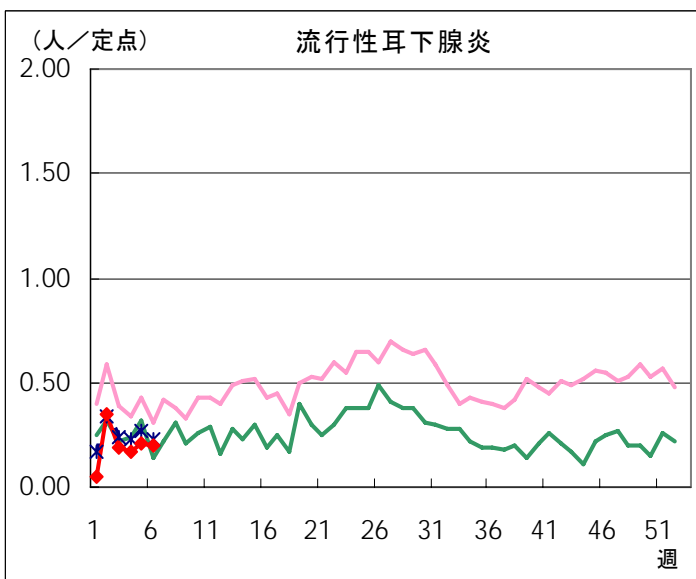
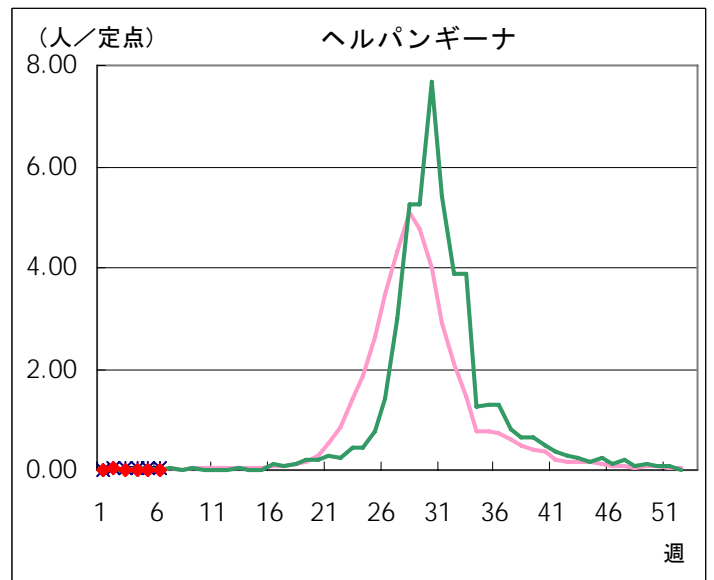
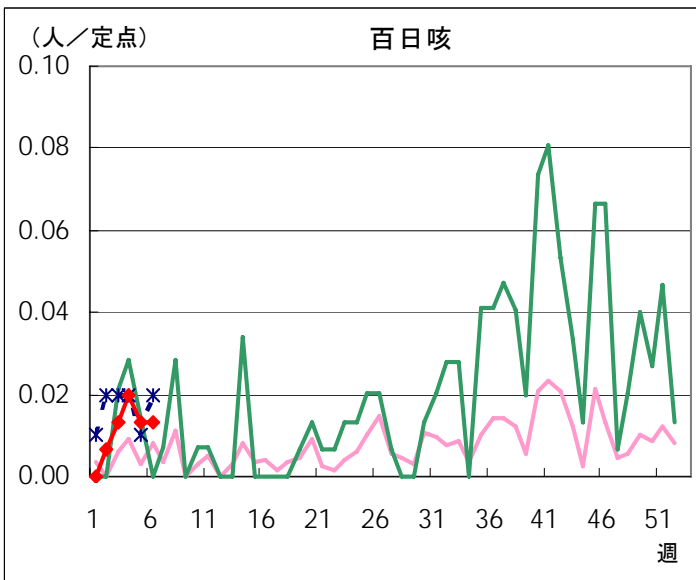
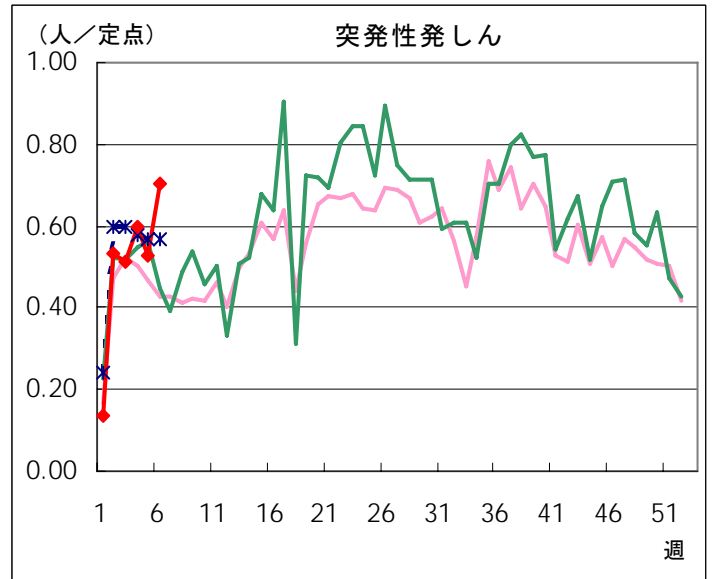
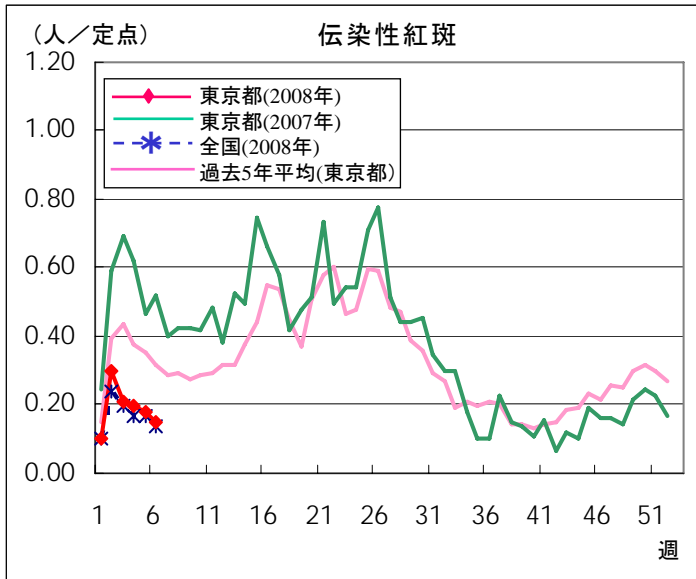
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)		流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎
千代田	0.25			2.20		
中央区				3.25		2.00
みなと				3.63		
新宿区				6.00		1.00
文京	0.67			4.20		
台東				2.40		
墨田区				5.17		1.00
江東区	0.50			5.44		
品川区		0.33		4.40		
目黒区	0.67			2.50		
大田区	0.11			7.56		
世田谷	0.63			8.60		
渋谷区				5.50		2.00
中野区	0.17			11.44		1.00
杉並	0.17			12.00		1.00
池袋	0.25	0.25		6.43		
北区				6.14		
荒川区	1.00			2.75		
板橋区	0.17			3.92		0.50
練馬区	0.40			6.75		0.50
足立				6.67	1.00	
葛飾区	0.25			11.67		
江戸川	0.80			10.50		1.00
八王子		1.00		15.10		1.00
西多摩				15.56		1.00
南多摩				10.78		
町田	0.75	0.50		11.78		
多摩立川				6.85		
多摩府中				10.05		
多摩小平				15.86		
島しょ				3.50		

定点当り報告数	0.19	0.06	-	8.26	0.05	0.41
---------	------	------	---	------	------	------

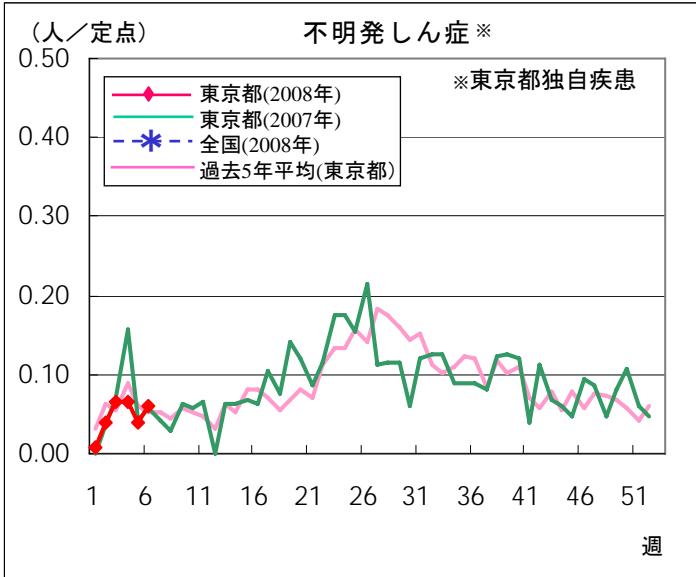
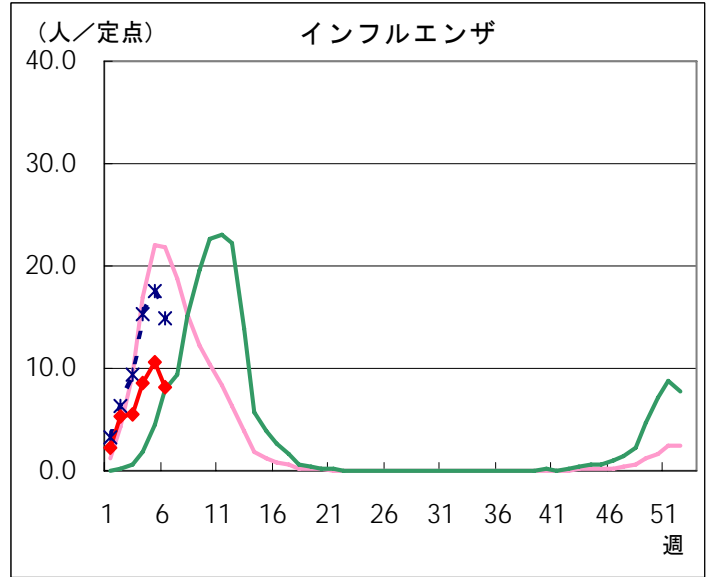
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年6週現在

◆ 小児科定点

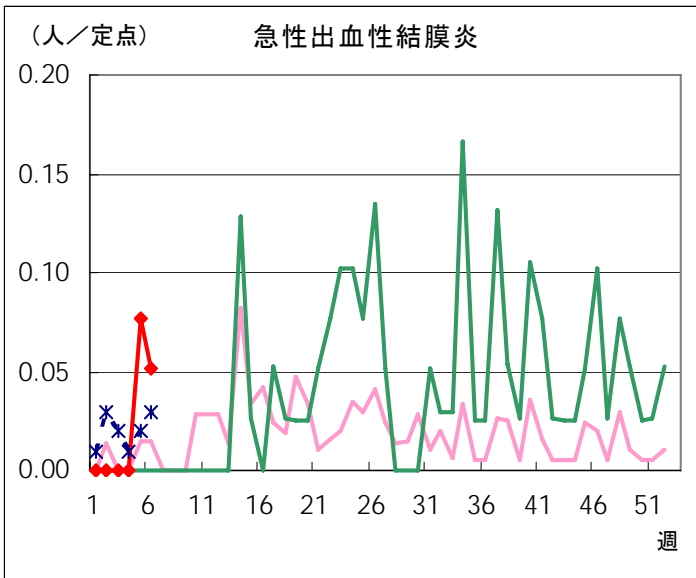
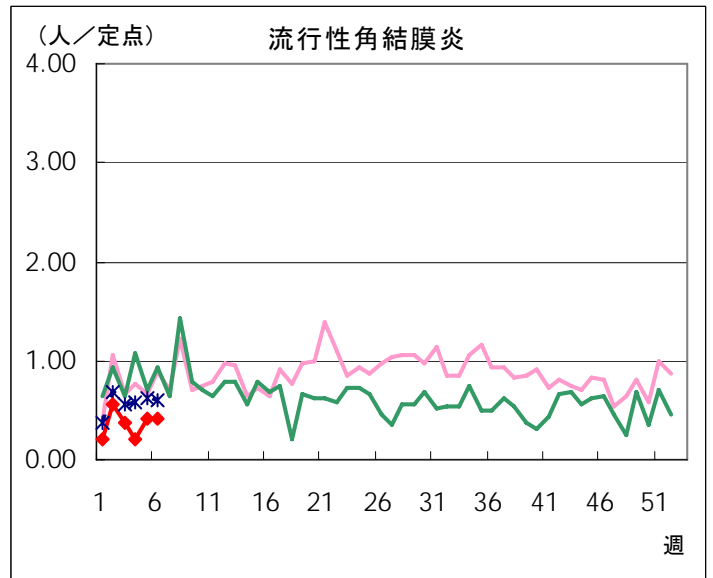




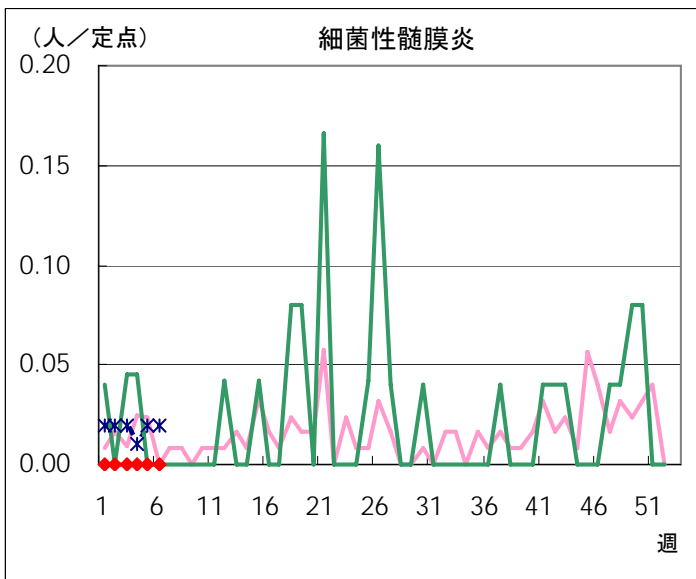
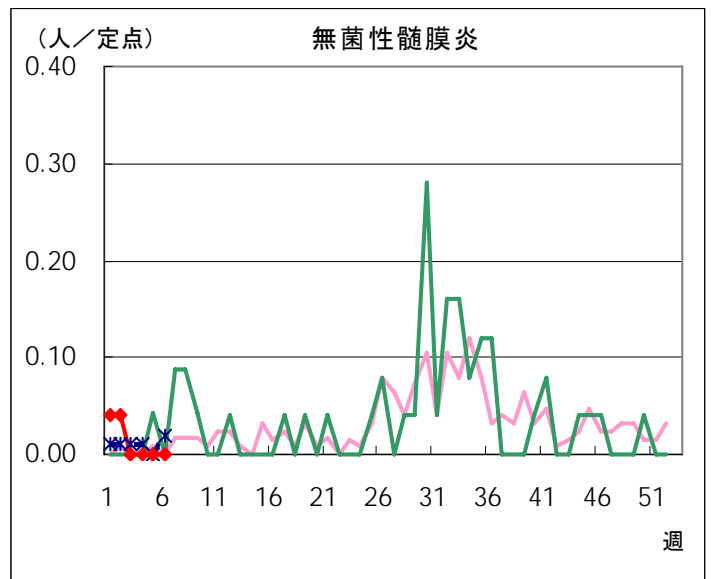
◆ インフルエンザ定点

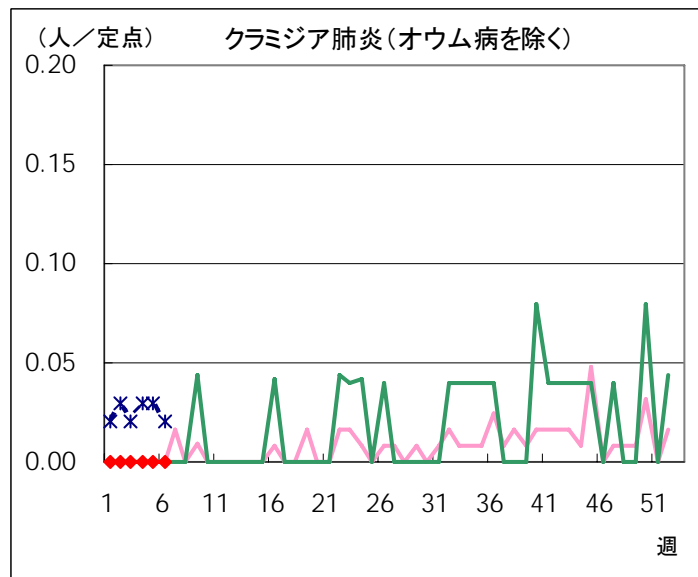
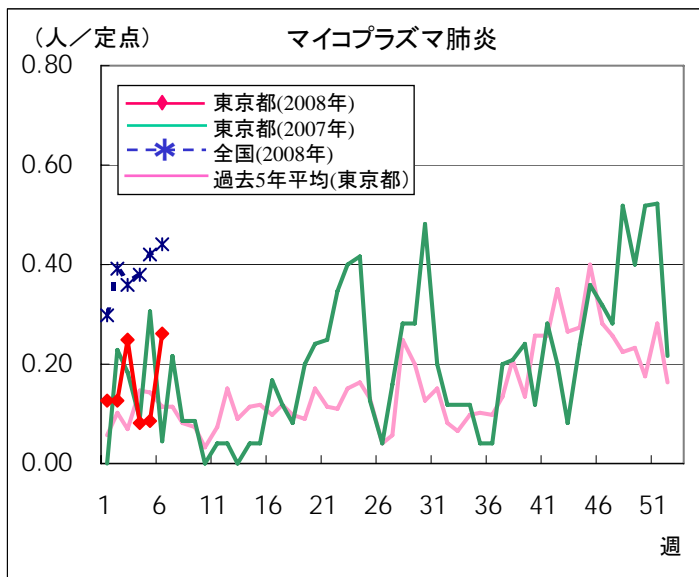


◆ 眼科定点

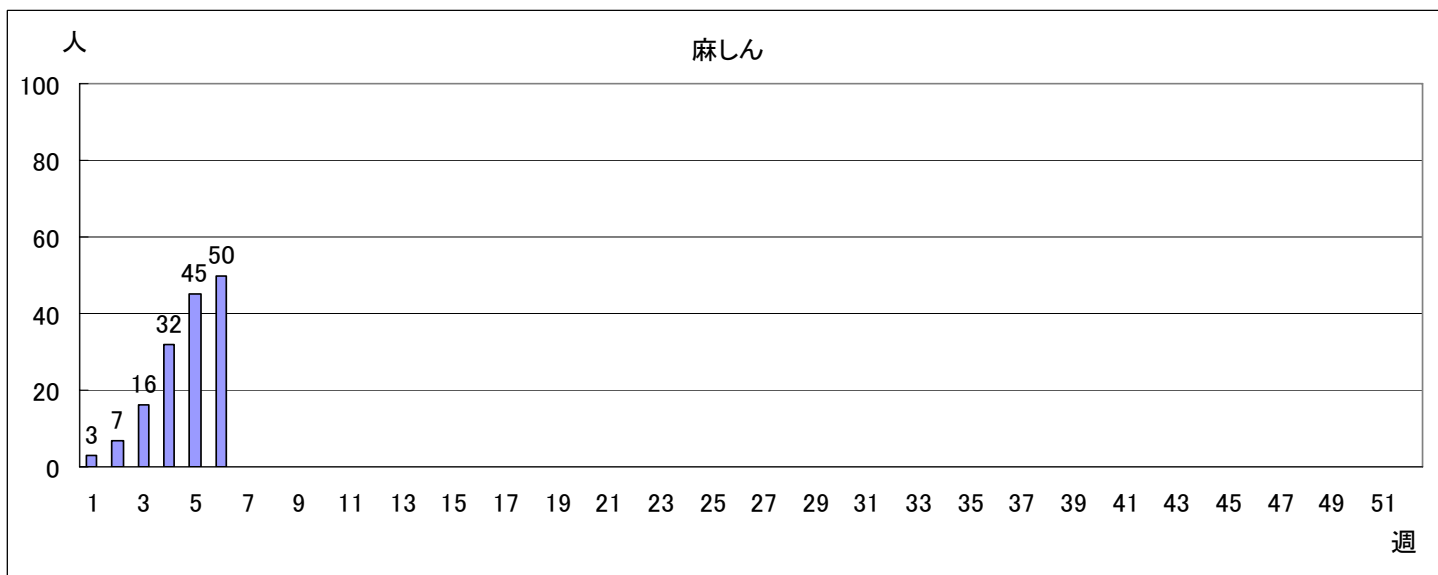


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年6週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	10		
新宿区	6		B型1名は6歳男児。
	3	8	
	6	1	
台東	3		
墨田区	1		B型1名は47歳男性。
	6	2	
	11	1	
品川区	11		
	2		
目黒区	3		患者5名。B型1名(8歳女児)。
	1		
	4		
大田区	3		患者9名。うちB型1名。 B型2名は6歳男児と7歳男児 2名はワクチン接種済み。
	8	2	
	3		
	1		
	16	4	
世田谷	6		A型は7歳女児、B型は4歳男児。
	18		
	5		
	1	1	
渋谷区	5		
	2		
中野区	20	15	またすべてA型に戻りました。 患者7名。5歳女児は12月にA型に罹患し、1月にB型に罹患しました。ワクチン接種済みでした。 B型1名は3歳女児。
	5		
	8		
	12		
池袋			患者5名中4名はワクチン接種済み。
	13	1	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区			患者4名。極端に患者数が減少しました。
	7	1	
	3		
	6		
足立	8		患者4名。極端に患者数が減少しました。
	1		
	6		
西多摩			患者15名。うち1名はB型(6歳女兒)。 患者8名。14歳女子はA型で学校で流行しているようです。
	24	1	
	4		
多摩立川	4		患者8名。60歳代女性はワクチン接種済
	4		
	11		
多摩府中		4	患者28名。成人が減り小児が多くなりました。B型が少し増加しました。
	8		
多摩小平			散発例、集団発生例半々くらいです。すべてA型、症状は比較的軽い人が多いように 思います。
	9	1	
	30		
	11		
	10		
	11		
22	1		
八王子市	39		患者28名。成人が減り小児が多くなりました。B型が少し増加しました。
	40	2	
	17		
	5		
	4		
	39	1	

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/24	アデノウイルス感染症	21	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
1/24	感染性胃腸炎	4	糞便	アデノウイルス	
1/26	耳下腺炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス ライノウイルス	
1/26	インフルエンザ	11	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	インフルエンザ	43	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	インフルエンザ	48	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	インフルエンザ	40	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	急性細気管支炎	8M	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/28	インフルエンザ	40	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/28	インフルエンザ	20	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	
1/28	上気道炎	3M	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
1/28	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
1/28	胃腸炎	81	直腸拭い液	ノロウイルス	
1/28	胃腸炎	75	糞便	ノロウイルス	
1/29	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	急性胃腸炎	10M	糞便	A群ロタウイルス	抗体
1/29	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
1/29	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/29	インフルエンザ	7	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/30	インフルエンザ	28	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/30	インフルエンザ	9	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/30	インフルエンザ	3	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型 RSウイルス	
1/31	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス	
1/31	インフルエンザ マイコプラズマ肺炎	11	鼻汁	アデノウイルス	
1/31	インフルエンザ	36	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/31	インフルエンザ	9	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型 ライノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/31	インフルエンザ	20	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
1/31	下痢 発熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/1	紅班	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
2/1	発しん インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
記載無し	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
記載無し	インフルエンザ	10	鼻汁	アデノウイルス	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2007/2008年							
		49	50	51	52+1	2	3	4	5
ウイルス	アデノウイルス	16	20	10	1	2	3	5	5
	ライノウイルス		5	1	3	2	2	2	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	6	4	2		1			1
	単純ヘルペスウイルス	2			1		1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	5	2	2	1		2		1
	EBウイルス	1		2	1		3	1	2
	サイトメガロウイルス	2			1				
	ムンプスウイルス			1			2	1	
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	6	13	8	3	8			3
	ノロウイルス	18	9	8	4	5	3	3	2
	ロタウイルス						2	1	1
インフルエンザウイルスAH1	10	5	22	8	25	13	10	18	
インフルエンザウイルスAH3					1		1	3	
インフルエンザウイルスB	1								
デングウイルス									
その他のウイルス			1	2			1		
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌	1	1	1					
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2007年49週～2008年5週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	174	27	59	83	27	1		7		1	2	4	12				117	
ウイルス	アデノウイルス	12	13	13	11			1			1	2	1				8	
	ライノウイルス	2	3	4	1								2				5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		2	1	4	1				1							5	
	単純ヘルペスウイルス					1												3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7			2	1	1						2						7
	EBウイルス												8					2
	サイトメガロウイルス			1														2
	ムンプスウイルス												4					
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス	2	7	30	1													1
ノロウイルス			1	48													3	
ロタウイルス				4														
インフルエンザウイルスAH1	109		2															
インフルエンザウイルスAH3	4	1																
インフルエンザウイルスB	1																	
デングウイルス																		
その他のウイルス			2	2														
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌	2										1							
その他の病原体																		